

科目名	ランドスケープ概論							年度	2025
英語科目名	Introduction to landscape							学期	前期
学科・学年	土木・造園科 2 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	右田順三	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
【科目の目的】									
ランドスケープデザインの歴史と変遷を学び、造園・土木・建築が交差する領域の基礎的な理解を深め、交通・都市計画・環境とアートの融合を実際の事例から考察する。									
【科目の概要】									
ランドスケープデザインの歴史を学び、造園・土木・建築等が交差する領域について理解を深めます。									
【到達目標】									
複数の領域が交差して建設業は成り立っている。ここでは、自身が専門とする分野と隣接分野のかかわりを理解し、広い視点を獲得することを目指す。									
【授業の注意点】									
自ら問題意識を持ち、課題解決に向けて具体的に考えることを求める。理由のない遅刻や欠席は認めない。やむを得ず欠席した場合は、自ら申し出て、授業内容を確認し、取り返す努力をすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ランドスケープデザインの歴史の変遷とその影響を深く理解し、独自の考察ができる	主要な歴史的な動向を把握し、それらの関係性を理解できる	主要な歴史的な動向を概ね理解できる	一部の歴史的な動向を理解している	ランドスケープの歴史についての理解が不十分				
到達目標 B	交通とランドスケープの関係について具体例を挙げて深く説明できる	交通とランドスケープの影響関係を説明できる	交通がランドスケープに与える影響を理解している	交通とランドスケープの関係の一部を理解している	交通とランドスケープの関係について理解が不足している				
到達目標 C	都市空間と自然環境の調和について実例を挙げて説明し、具体的な提案ができる	都市空間と自然の関係性を理解し、調和を図るための基本的な考え方が説明できる	都市空間と自然の調和の重要性を理解している	都市と自然の関係性の一部を理解している	都市と自然の調和についての理解が不足している				
到達目標 D	モダニズムと機能主義の理論を理解し、デザインへの応用例を説明できる	モダニズムと機能主義の基本的な理論を理解し、デザインに関連づけられる	モダニズムと機能主義の基本的な概念を理解している	理論の一部を理解しているが、応用が難しい	理論について理解が不足している				
到達目標 E	人口減少がランドスケープに与える影響を理解し、対応策を具体的に提案できる	人口減少の影響を理解し、基本的な対応策を説明できる	人口減少の影響を概ね理解している	一部の影響を理解しているが、対応策が難しい	人口減少とランドスケープの関係について理解が不足している				
【教科書】									
配布プリント等									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
授業への取り組み、課題、期末試験等を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

